

指针对象物質において使用すべき保護具

①塩化アリル

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>送気マスク、有機ガス用防毒マスク</p> <p>※作業環境中の濃度や作業時間を考慮して適切なものを選択すること。ばく露限界濃度が低いことから、作業環境濃度によっては高い防護率のマスク（全面型など）の使用が望ましい。</p> <p>※常温で液体であり、特徴的な臭気がある。</p> <p>※蒸気圧が高く作業環境中の濃度が高まる可能性があり、高濃度条件下で作業する場合、破過時間が短くなる可能性がある。塩化アリルを酸化剤と反応させるとCO、Cl₂、HClが発生する。このような場合は、必ず送気マスク、酸素呼吸器などの給気式呼吸用保護具を使用すること。</p>	<p>防毒マスクの規格（平成2年労働省告示第68号）、JIST 8152（防毒マスク）、JIST 8153（送気マスク）</p>
保護衣、保護手袋等	<p>EVOH（エチレンービニルアルコール共重合体）製、ポリビニルアルコール製</p> <p>※耐透過性、耐浸透性、反発性については、それぞれJIST8115に定める試験の結果から得られた等級を踏まえ、各等級ごとに示されている透過時間等を考慮した対応（例：使用時間を記録し、透過時間を経過する前に保護服を交換する。）が望ましい。</p> <p>なお、当該物質を使用する際に化学防護服、化学防護手袋及び化学防護長靴については、別にJIST8115に定める試験を行うことが望ましい。</p> <p>また、気密形保護服、密閉型保護服の使用に当たっては、暑熱環境等物理的要因を考慮し、適切な対応を取ることが必要である。</p>	<p>JIST8115（化学防護服）、JIST8116（化学防護手袋）、JIST8117（化学防護長靴）</p>
保護眼鏡	<p>スペクタクル形又はゴーグル形の使用が望ましい。作業形態に応じ防災面（化学物質飛来防護用）を併用してもよい。また、一度破損又は汚染したものは使用しないことが望ましい。</p>	<p>JIST8147（保護めがね）</p>

②オルトフェニレンジアミン及びその塩

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>送気マスク 防じん機能付き防毒マスク(ろ過材の等級:L3,S3,L2,S2、吸収缶:有機ガス用)</p> <p>※作業環境中の濃度や作業時間を考慮して適切なものを選択すること。感作性(ぜんそく誘発)があり、ばく露限界濃度が低いため、高い防護率のマスクの使用が望ましい。この場合、給気式で面体内部が陽圧に保たれるマスクが望ましい。 ※常温で結晶である。</p>	<p>防毒マスクの規格(平成2年労働省告示第68号)、JIST 8152(防毒マスク)、JIST 8153(送気マスク)</p>
保護衣、保護手袋等	<p>ブチルゴム製、ネオプレンゴム製</p> <p>※耐透過性、耐浸透性、反発性については、それぞれJIST8115に定める試験の結果から得られた等級を踏まえ、各等級ごとに示されている透過時間等を考慮した対応(例:使用時間を記録し、透過時間を経過する前に保護服を交換する。)が望ましい。</p> <p>なお、当該物質を使用する際に化学防護服、化学防護手袋及び化学防護長靴については、別にJIST8115に定める試験を行うことが望ましい。</p> <p>また、気密形保護服、密閉型保護服の使用に当たっては、暑熱環境等物理的要因を考慮し、適切な対応を取ることが必要である。</p>	<p>JIST8115(化学防護服)、JIST8116(化学防護手袋)、JIST8117(化学防護長靴)</p>
保護眼鏡	<p>スペクタクル形又はゴーグル形の使用が望ましい。作業形態に応じ防災面(化学物質飛来防護用)を併用してもよい。また、一度破損又は汚染したものは使用しないことが望ましい。</p>	<p>JIST8147(保護めがね)</p>

③1-クロロ-2-ニトロベンゼン

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>送気マスク 防じん機能付き防毒マスク(ろ過材の等級:L3,S3,L2,S2、吸収缶:有機ガス用)</p> <p>※作業環境中の濃度や作業時間を考慮して適切なものを選択すること。 ※常温で結晶であり、特徴的な臭気がある。 ※1-クロロ-2-ニトロベンゼンを酸化剤と反応させるとCO、窒素酸化物、Cl₂、HClが発生する。</p>	<p>防毒マスクの規格(平成2年労働省告示第68号)、JIST 8152(防毒マスク)、JIST 8153(送気マスク)</p>
保護衣、保護手袋等	<p>EVOH(エチレン-ビニルアルコール共重合体)製、フッ素ゴム製</p> <p>※耐透過性、耐浸透性、反発性については、それぞれJIST8115に定める試験の結果から得られた等級を踏まえ、各等級ごとに示されている透過時間等を考慮した対応(例:使用時間を記録し、透過時間を経過する前に保護服を交換する。)が望ましい。</p> <p>なお、当該物質を使用する際に化学防護服、化学防護手袋及び化学防護長靴については、別にJIST8115に定める試験を行うことが望ましい。</p> <p>また、気密形保護服、密閉型保護服の使用に当たっては、暑熱環境等物理的要因を考慮し、適切な対応を取ることが必要である。</p>	<p>JIST8115(化学防護服)、JIST8116(化学防護手袋)、JIST8117(化学防護長靴)</p>
保護眼鏡	<p>スペクタクル形又はゴーグル形の使用が望ましい。作業形態に応じ防災面(化学物質飛来防護用)を併用してもよい。また、一度破損又は汚染したものは使用しないことが望ましい。</p>	<p>JIST8147(保護めがね)</p>

④2. 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>送気マスク 防じん機能付き防毒マスク(ろ過材の等級:L3,S3,L2,S2、吸収缶:有機ガス用)</p> <p>※作業環境中の濃度や作業時間を考慮して適切なものを選択すること。 ※常温で結晶である。 ※2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼンを酸化剤と反応させるとCO、CO₂、窒素酸化物、HClが発生する。</p>	<p>防毒マスクの規格(平成2年労働省告示第68号)、JIST 8152(防毒マスク)、JIST 8153(送気マスク)</p>
保護衣、保護手袋等	<p>類似構造の物質(上記③1-クロロ-2-ニトロベンゼン)について推奨されるものを参照</p> <p>※耐透過性、耐浸透性、反発性については、それぞれJIST8115に定める試験の結果から得られた等級を踏まえ、各等級ごとに示されている透過時間等を考慮した対応(例:使用時間を記録し、透過時間を経過する前に保護服を交換する。)が望ましい。</p> <p>なお、当該物質を使用する際に化学防護服、化学防護手袋及び化学防護長靴については、別にJIST8115に定める試験を行うことが望ましい。</p> <p>また、気密形保護服、密閉型保護服の使用に当たっては、暑熱環境等物理的要因を考慮し、適切な対応を取ることが必要である。</p>	<p>JIST8115(化学防護服)、JIST8116(化学防護手袋)、JIST8117(化学防護長靴)</p>
保護眼鏡	<p>スペクタクル形又はゴーグル形の使用が望ましい。作業形態に応じ防災面(化学物質飛来防護用)を併用してもよい。また、一度破損又は汚染したものは使用しないことが望ましい。</p>	<p>JIST8147(保護めがね)</p>

⑤1, 2-ジクロロプロパン

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>送気マスク、有機ガス用防毒マスク</p> <p>※作業環境中の濃度や作業時間を考慮して適切なものを選択すること。</p> <p>※常温で液体であり、特徴的な臭気がある。</p> <p>※1, 2-ジクロロプロパンを酸化剤と反応させるとCO、CO₂、HClが発生する。</p>	<p>防毒マスクの規格(平成2年労働省告示第68号)、JIST 8152(防毒マスク)、JIST 8153(送気マスク)</p>
保護衣、保護手袋等	<p>ポリビニルアルコール製、フッ素ゴム製</p> <p>※耐透過性、耐浸透性、反発性については、それぞれJIST8115に定める試験の結果から得られた等級を踏まえ、各等級ごとに示されている透過時間等を考慮した対応(例:使用時間を記録し、透過時間を経過する前に保護服を交換する。)が望ましい。</p> <p>なお、当該物質を使用する際に化学防護服、化学防護手袋及び化学防護長靴については、別にJIST8115に定める試験を行うことが望ましい。</p> <p>また、気密形保護服、密閉型保護服の使用に当たっては、暑熱環境等物理的要因を考慮し、適切な対応を取ることが必要である。</p>	<p>JIST8115(化学防護服)、JIST8116(化学防護手袋)、JIST8117(化学防護長靴)</p>
保護眼鏡	<p>スペクタクル形又はゴーグル形の使用が望ましい。作業形態に応じ防災面(化学物質飛来防護用)を併用してもよい。また、一度破損又は汚染したものは使用しないことが望ましい。</p>	<p>JIST8147(保護めがね)</p>

⑥ノルマルブチル-2, 3-エポキシプロピルエーテル

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>送気マスク、有機ガス用防毒マスク</p> <p>※作業環境中の濃度や作業時間を考慮して適切なものを選択すること。</p> <p>※常温で液体であり、特徴的な臭気がある。</p> <p>※ノルマルブチル-2, 3-エポキシプロピルエーテルを酸・アルカリと反応させるとCOが発生する。</p>	<p>防毒マスクの規格(平成2年労働省告示第68号)、JIST 8152(防毒マスク)、JIST 8153(送気マスク)</p>
保護衣、保護手袋等	<p>※耐透過性、耐浸透性、反発性については、それぞれJIST8115に定める試験の結果から得られた等級を踏まえ、各等級ごとに示されている透過時間等を考慮した対応(例:使用時間を記録し、透過時間を経過する前に保護服を交換する。)が望ましい。</p> <p>なお、当該物質を使用する際に化学防護服、化学防護手袋及び化学防護長靴については、別にJIST8115に定める試験を行うことが望ましい。</p> <p>また、気密形保護服、密閉型保護服の使用に当たっては、暑熱環境等物理的要因を考慮し、適切な対応を取ることが必要である。</p>	<p>JIST8115(化学防護服)、JIST8116(化学防護手袋)、JIST8117(化学防護長靴)</p>
保護眼鏡	<p>スペクタクル形又はゴーグル形の使用が望ましい。作業形態に応じ防災面(化学物質飛来防護用)を併用してもよい。また、一度破損又は汚染したものは使用しないことが望ましい。</p>	<p>JIST8147(保護めがね)</p>

⑦パラ-ニトロアニソール

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>送気マスク 防じん機能付き防毒マスク(ろ過材の等級:L3,S3,L2,S2、吸収缶:有機ガス用)</p> <p>※作業環境中の濃度や作業時間を考慮して適切なものを選択すること。 ※ 常温で結晶である。</p>	<p>防毒マスクの規格(平成2年労働省告示第68号)、JIST 8152(防毒マスク)、JIST 8153(送気マスク)</p>
保護衣、保護手袋等	<p>※耐透過性、耐浸透性、反発性については、それぞれJIST8115に定める試験の結果から得られた等級を踏まえ、各等級ごとに示されている透過時間等を考慮した対応(例:使用時間を記録し、透過時間を経過する前に保護服を交換する。)が望ましい。</p> <p>なお、当該物質を使用する際に化学防護服、化学防護手袋及び化学防護長靴については、別にJIST8115に定める試験を行うことが望ましい。</p> <p>また、気密形保護服、密閉型保護服の使用に当たっては、暑熱環境等物理的要因を考慮し、適切な対応を取ることが必要である。</p>	<p>JIST8115(化学防護服)、JIST8116(化学防護手袋)、JIST8117(化学防護長靴)</p>
保護眼鏡	<p>スペクタクル形又はゴーグル形の使用が望ましい。作業形態に応じ防災面(化学物質飛来防護用)を併用してもよい。また、一度破損又は汚染したものは使用しないことが望ましい。</p>	<p>JIST8147(保護めがね)</p>

⑧1ーブロモー3ークロロプロパン

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>送気マスク、有機ガス用防毒マスク</p> <p>※作業環境中の濃度や作業時間を考慮して適切なものを選択すること。</p> <p>※常温で液体である。</p>	<p>防毒マスクの規格(平成2年労働省告示第68号)、JIST 8152(防毒マスク)、JIST 8153(送気マスク)</p>
保護衣、保護手袋等	<p>※耐透過性、耐浸透性、反発性については、それぞれJIST8115に定める試験の結果から得られた等級を踏まえ、各等級ごとに示されている透過時間等を考慮した対応(例:使用時間を記録し、透過時間を経過する前に保護服を交換する。)が望ましい。</p> <p>なお、当該物質を使用する際に化学防護服、化学防護手袋及び化学防護長靴については、別にJIST8115に定める試験を行うことが望ましい。</p> <p>また、気密形保護服、密閉型保護服の使用に当たっては、暑熱環境等物理的要因を考慮し、適切な対応を取ることが必要である。</p>	<p>JIST8115(化学防護服)、JIST8116(化学防護手袋)、JIST8117(化学防護長靴)</p>
保護眼鏡	<p>スペクタクル形又はゴーグル形の使用が望ましい。作業形態に応じ防災面(化学物質飛来防護用)を併用してもよい。また、一度破損又は汚染したものは使用しないことが望ましい。</p>	<p>JIST8147(保護めがね)</p>